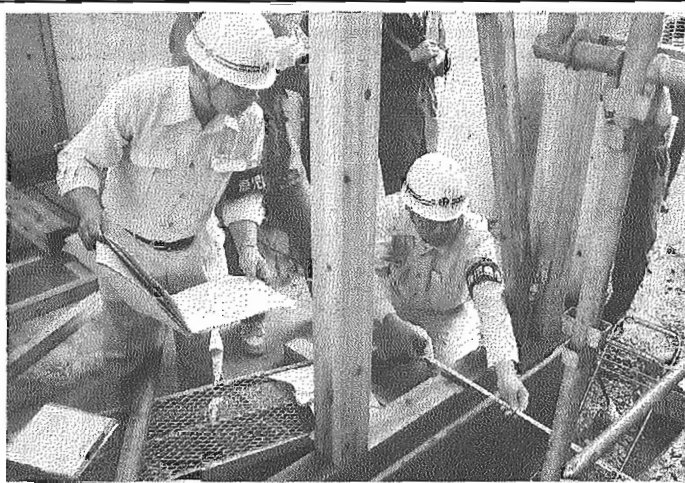


鹿児島市の一斉公開建築パト

確認表示板未揭示目立つ

鹿児島市は14日、15年度違反建築防止週間に伴う一斉公開建築パトロールを実施、確認表示板の点検、査察指導を行った。



図面通り施工されているか確認する査察員
＝鹿児島市吉野町で

同日は、市内を市街地・吉野、武・田上・伊敷・小山田、宇宿・谷山の3地区に分けて、市建築指導課職員2人、消防局警務各1人の計4人で査察指導班を編成、工事途中の現場78棟（W造68棟、S造・RC造各5棟）を巡回した。

このうち、鹿児島市吉野町の区画整理区域内にある住宅新築現場では、建築指導課指導係の中馬一美主査、久保浩一技師らが査察。図面と照合しながら建築基準法に適合しているか寸法を確認、現場責任者から施工状況を聞いていた。

パトロールの結果、概ね法令順守されていたものの、3地区で合わせて26カ所の確認表示板未揭示があった。なお、同日は県建築課も、出先土木事務所等管内で26班約160人を動員してパトを行い、立ち入り点検した。

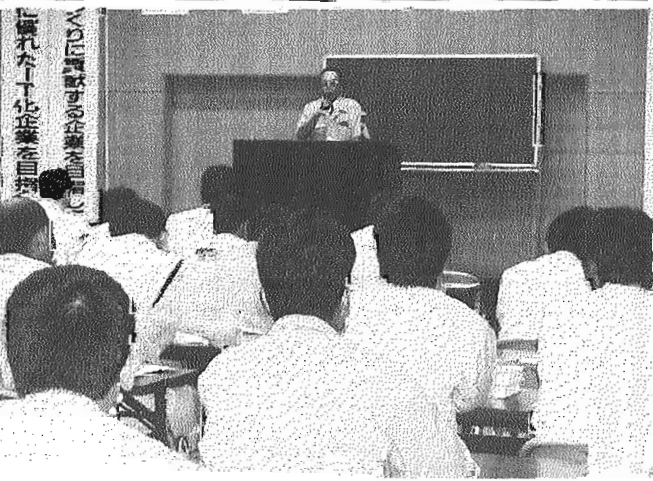
県森林土木協会加治木支部 研修会

積算基準改正など講義

県森林土木協会加治木支部（末重忠重支部長）は14日、始良郡加治木町の始良郡建設会館で15年度森林土木技術研修会を開き、会員ら約70人が出席した。

席して積算基準の改正や建設リサイクル法等について知識を深めた。

研修会では、初めに末重支部長が「今回の研修会から、会員外からも参加することとなった。丸一日を費やす研修となるが、大変貴重な講習であり、熱心な受講をお願いする」と挨拶。続いて的場康一（加治木農林事務所）が「日頃から優れた施工で森林土木業務に協力していただいていることに感謝する。災害に強く、見た目も美しい完成品を提案することとなった。丸一日を費やす研修となるが、大変貴重な講習であり、熱心な受講をお願いする」と挨拶。続いて的場康一（加治木農林事務所）が「日頃から優れた施工で森林土木業務に協力していただいていることに感謝する。災害に強く、見た目も美しい完成品を提案することとなった。丸一日を費やす研修となるが、大変貴重な講習であり、熱心な受講をお願いする」と挨拶。

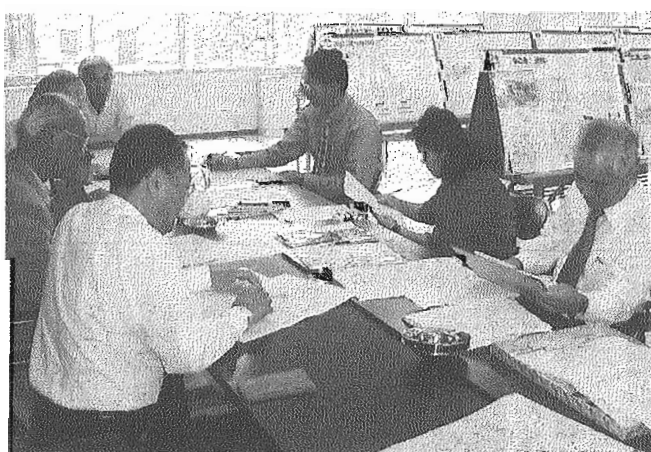


建設リサイクル法も解説した研修会
＝加治木町の始良郡建設会館で

県内高校生設計コンペ

金賞に永吉さん(薩南工)

県建築士会主催による県内建築系高校生を対象にした15年度建築設計コンペ審査会は10日、鹿児島市の県住宅公社ビルで行われ、10校172点の作品を審査した結果、金賞に永吉美和子さん（薩南工業3年）が選ばれた。



作品の審査を行う委員
＝鹿児島市の県住宅公社ビルで

また、学校賞は薩南工業が2年連続獲得した。今年で39回目を迎える同コンペの課題は「住宅地に建つ専用住宅」。友清貴和鹿児島大学工学部教授を審査委員長に7人の委員が入賞者は次の通り。

金賞＝永吉美和子（薩南工業3年）▽銀賞＝是枝邦彦（尚志館2年）新中務（隼人工業3年）▽銅賞＝長原由佳（薩南工業2年）堂原翼（同3年）尾中寿（出水工業3年）▽奨励賞＝川床弥次（薩南工業3年）柚木恵里（薩南工業2年）中内健太郎（出水工業2年）秋山幸賀（鹿屋工業2年）高橋竜太（同）▽佳作＝南新高志（れいめい3年）井手上葵（鹿児島工業2年）川下夏末（同）二宮梨沙（薩南工業3年）外山春海（栗野工業2年）常盤可菜（加治木工業2年）平原笑美（隼人工業2年）大久保泰孝（鹿屋工業3年）稲崎健一郎（大島工業3年）▽学校賞＝薩南工業

加治木農林事務所森林土木課長が「管内森林土木事業概要及び注意事項等」について、それぞれ講習を行い、参加者はメモをとりながら熱心に聴き入っていた。

また当日午後からは、国分市の治山及び林道の既設施工箇所と施工箇所計2カ所で現場研修も実施し、参加者は充実した一日を過ごした。

解体施工技士講習会

合格目指し133人聴講

県建造物解体業連

県建造物解体業連合会（江藤正幸会長）は14日、鹿児島市の県建設センターで第11回解体工事施工技士講習会を開き、試験合格に向け133人が出席、施工管理関係法令や安全衛生管理、環境保全等について学んだ。

当日は、開講を前に江藤会長が「施工技士制度は解体工事に係る唯一の資格で、資格を活用し仕事につなげていくことが大切である。また、試験のためだけでなく、安全確保や環境保全の士気にも役立ててほしい。建設リサイクル法の順守を図り、安全第一に解体工事の確立とレベルアップをお願いしたい」と挨拶。続いて、全国解体工事業団体連合会の出野政雄常務理事ら5人を講師に、建設リサイクル法や安全衛生管理、解体工法の種類、

火山砂防制定15周年式典 桜島防災などテーマに

大隅河川国道

史資料センター黎明館で「火山砂防事業制定15周年記念式典・記念シンポジウム」を開き、これまで



より広範囲で多様な防災対策を——と挨拶する酒谷所長＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

でに発生した火山災害の事例報告や今後の火山防災のあり方等についてのディスカッションに多数の参加者が聴き入った。

式典の冒頭、酒谷所長が「平成元年度に創設された火山砂防事業は今年で15周年を迎え、災害に備える体制が整備された。ト両面ともに新たな対策を迫られる過渡期を迎えているともいえる。今後は、各行政機関で培ってきた経験と知識を生かし、より広範囲で多様な防災対策を地域住民の皆さんと取り組んでいく必要がある」と挨拶した。

酒谷所長は、桜島防災の歴史を振り返り、今後の火山防災のあり方について討議した。



真剣に聴講する参加者
＝鹿児島市の県建設センターで

また、学校賞は薩南工業が2年連続獲得した。今年で39回目を迎える同コンペの課題は「住宅地に建つ専用住宅」。友清貴和鹿児島大学工学部教授を審査委員長に7人の委員が入賞者は次の通り。

金賞＝永吉美和子（薩南工業3年）▽銀賞＝是枝邦彦（尚志館2年）新中務（隼人工業3年）▽銅賞＝長原由佳（薩南工業2年）堂原翼（同3年）尾中寿（出水工業3年）▽奨励賞＝川床弥次（薩南工業3年）柚木恵里（薩南工業2年）中内健太郎（出水工業2年）秋山幸賀（鹿屋工業2年）高橋竜太（同）▽佳作＝南新高志（れいめい3年）井手上葵（鹿児島工業2年）川下夏末（同）二宮梨沙（薩南工業3年）外山春海（栗野工業2年）常盤可菜（加治木工業2年）平原笑美（隼人工業2年）大久保泰孝（鹿屋工業3年）稲崎健一郎（大島工業3年）▽学校賞＝薩南工業

購読料のお支払いが
お手軽で便利な
自動振替で

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ